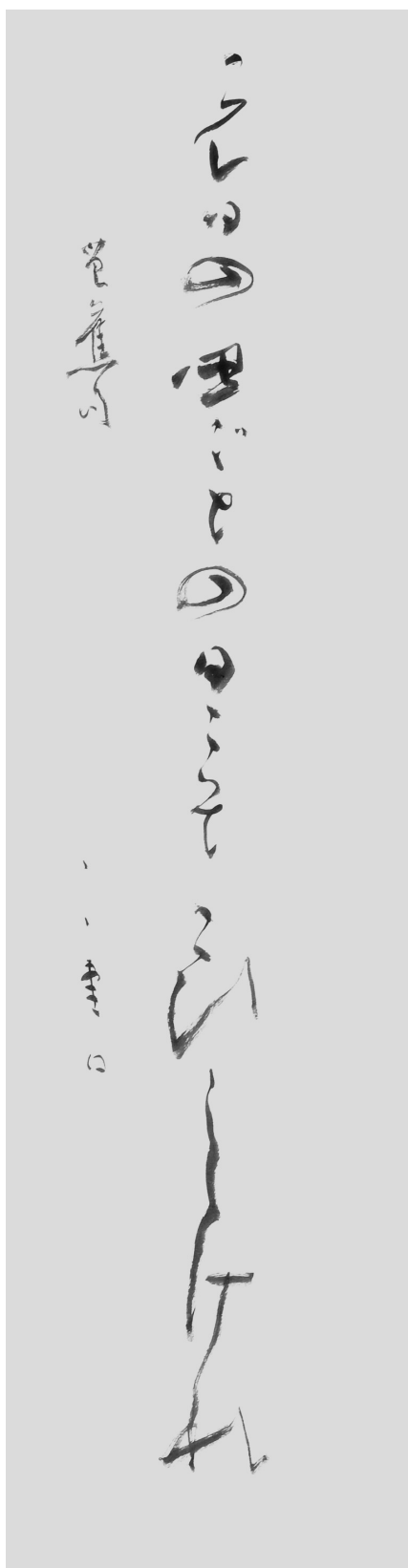


条幅部自由参考

1月27日正午必着

明石春浦先生書



元日の田ごとの目こそこひしけれ (松尾芭蕉)

明石幸子書



春和駘蕩 (古樂府)

春のやわらかい風がのどか (駘蕩) に吹いている貌。



寒沙^{かんさは}四面^{しめん}平^{へい}
飛雪^{ひせつ}千里^{せんり}驚^{おどろ}
風斷^{かぜは}陰^{かげ}山^{さん}樹^{のき}

霧^{きり}失^は交^{こう}河^が城^{のしろ}
霧^{きり}失^は交^{こう}河^が城^{のしろ}

(范雲)

さむざむとした砂は四方平らにひろがり、雪は千里かなたにまで飛んで驚かす。
風は匈奴の地、陰山の樹々を吹き倒し、霧は西城交河の城をかくす。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

延壽萬歲(漢瓦當文)

延壽萬歲

延壽はながいき(長命)。

光搖海上千峰色
影散城東萬樹春

光^{ひかり}は海上^{かいじょう}に揺らぐ千峰^{せんほう}の色。
影^{かげ}は城東^{じょうとう}に散る萬樹^{ばんじゅ}の春^{はる}。

早春の光景である。

溪南書齋

(楊 発)

溪南^{けいなん}の書齋^{しよさい}

楊^{よう} 発^{はつ}

茅屋住來久

山深人閉門

茅屋^{ぼうおく} 住^{じゅう}してより久^{ひさ}しく 山深^{やまふか}くして 人門^{ひともん}を閉^とず

草生垂井口

花落擁離根

草生^{くさじょう}じて 井口^{せいこう}に垂^たれ 花落^{はなお}ちて 離根^{りこん}を擁^{よう}す

入院將雛鳥

攀蘿抱子猿

院^{いん}に入る 雛^{ひな}を將^{まさ}る鳥^{とり} 蘿^{つた}を攀^{のぼ}る 子^こを抱^{いだ}く猿^{さる}

曾逢異人說

風景似桃源

曾^{かつ}て異人^{いじん}に逢^あつて説^とく 風景^{ふうけい}は桃源^{とうげん}に似^にたり

西方にオレンヂいろの雲いでて夕ぐれ春の雪はれにけり

(金子 薫園)

半紙部規定課題A

1月27日正午必着

文
彩
舊
弓
裘

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書

1月27日正午必着



隸書



行草書

文彩舊弓
弓矢

篆書

送王牧往吉州

謁中史君叔上

細草綠汀洲
王孫耐薄游
年華初冠帶
文彩舊弓裘
野渡花爭發
春塘水亂流
史君憐小阮
應念倚門愁

王牧が吉州に往いて史君叔に謁する
を送る

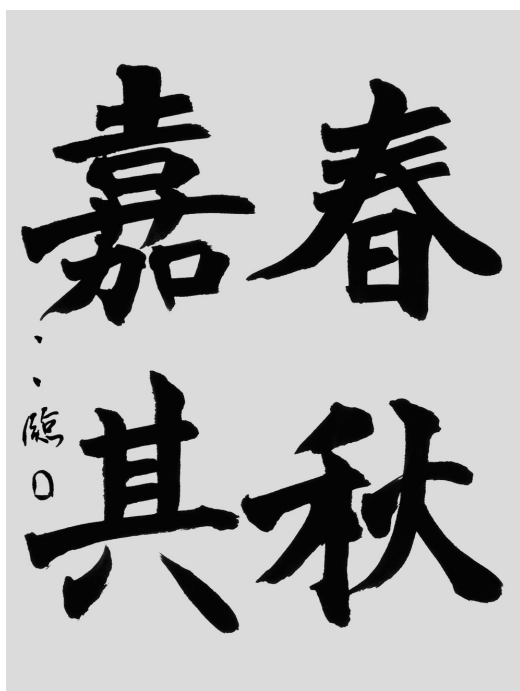
李嘉祐

細草 汀洲に緑に
王孫 耐く薄遊す
年華 初めて冠帶し
文彩 旧と弓裘
野渡 花争って発き
春塘 水乱れつつ流る
史君 小阮を憐れむも
應に倚門の愁いを念うべし

細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかわかしさが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受
けつぐ

野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
太守は甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

1月27日正午必着



春秋、其の（声績を）嘉す。

雨宮春聲先生臨書



北魏張猛龍碑

清朝の中頃、阮元が南北書派論・北碑南帖論を著わしたり、包世臣が北碑の美を称揚してから北碑が次第に親しまれるようになった。更には、清末には康有為が出て一層北碑の価値を高め、その余波は我日本にまでも及んで今日に到っている。

この碑は宋代にすでに著録されているもので、古くから知られていたが、先の識者達に絶賛されてから北碑の代表的名品として、世人に注目されるようになった。

北魏の魯郡の太守をしていた張猛龍の徳行を頌するために建てられた碑で、碑額には楷書で「魏魯郡太守張府君清頌之碑」と十二字が三行に陰刻されている。碑文は楷書で二十六行、一行には四十六字刻されている。

結構はやや長方形に引きしまり、転折鋭く、書風は峻整で森嚴（身が引きしまるようにおごそかなさま）、用筆は健勁を極め、一種清高の気を帯びた作で六朝楷書の代表とされる。

この碑よりわずか三年前に建てられた「賈思伯碑」は、題額の様子から書風まで非常に似ており、同筆ではないかと思われ、研究すべき資料とされている。

（春廣）

姫□に緝ぎ、中興是れに頼る。晋の大夫張老、春秋、其の聲績を嘉す。漢初、趙景

△倣書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

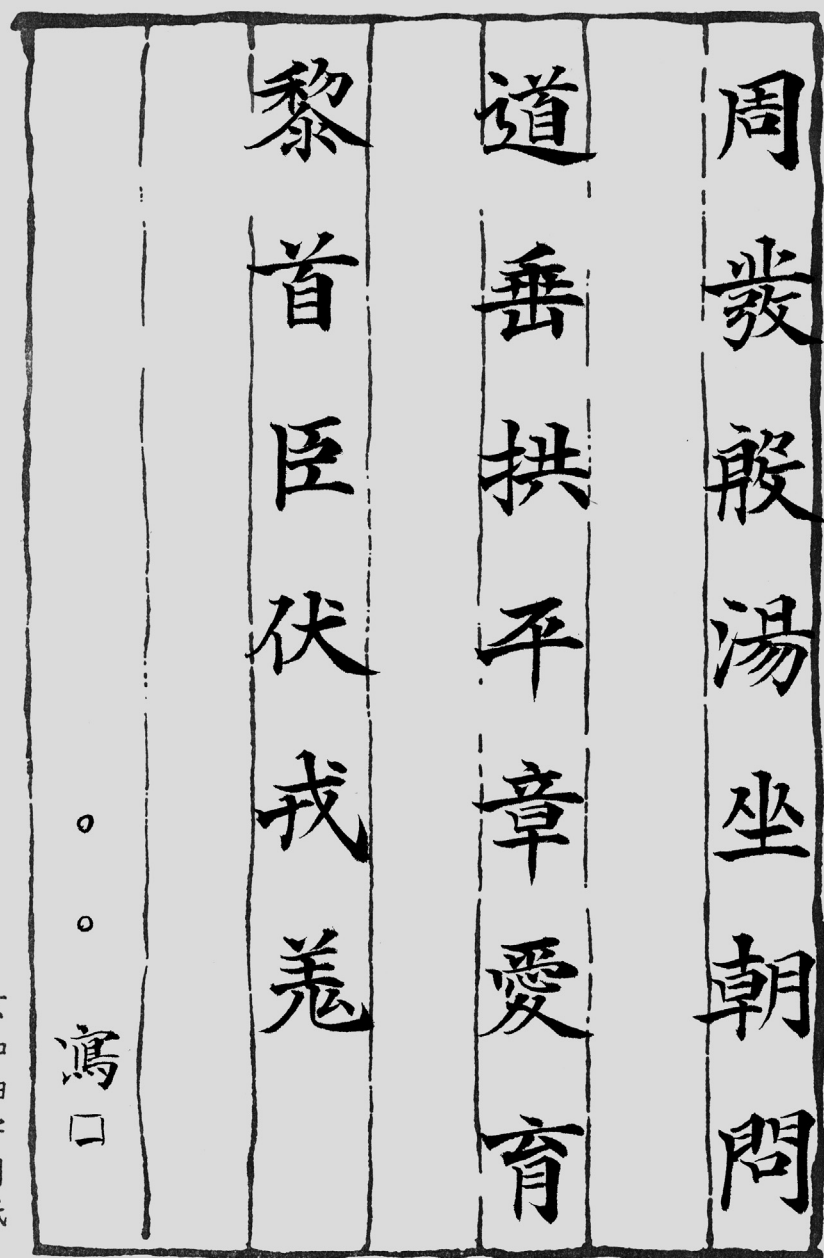
晉大夫張先春秋嘉
其聲績漢初趙

晉の大夫張老、春秋、其の声績を嘉す。漢初、趙（景）

春風秋月恒好

書日

春風秋月恒好（陸瓊）

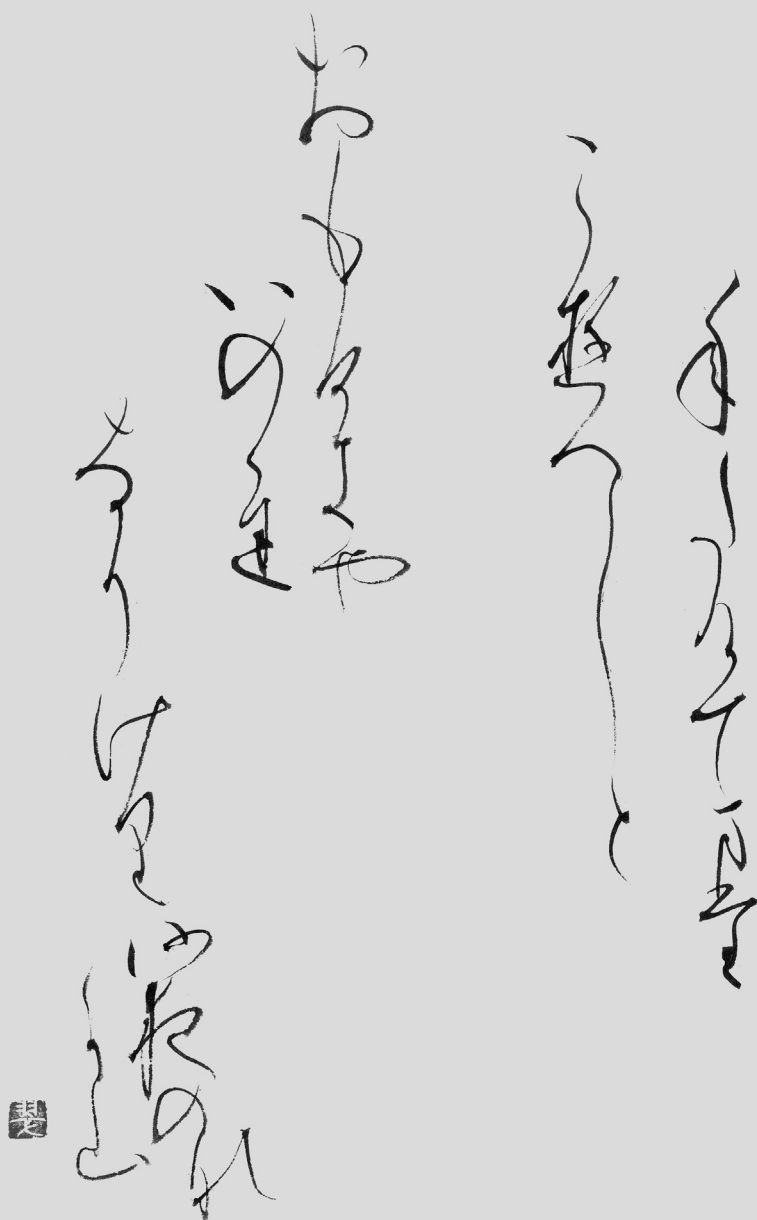


玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550＋税込、送料別）

西 墨濤先生書

年たけて
多介
また
万堂
遊
べしと
おもひきや
日支
いのちなりけり
遅奈
里
さやのなか山
沙夜那可
(西行法師)



松永翠舟先生書

1月27日正午必着

教育部毛筆

振袖

雨宮春聲先生書

ふり
振

そで
袖

中学一年

吉祥

菅井松雲先生書

きつ
吉

しょう
祥

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

着

物

小学五年



横川春川先生書

配

達

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月27日正午必着



藤田幸春先生書

たい
太

へい
平

小学三年



細谷春誠先生書

はつ
初

いち
市

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ふ

じ

小学一年・幼年



森戸春濤書

てん
天

こう
光

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月27日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

お正月は家族で初
もうでに行きます

小学五年

冬の大地に初光がさ
し新しい年が始まる

小学六年

希望を胸にいだき新し
い年の第一歩をしるす

中学

新しき光を浴びて万
物生氣を取りもどす

一般(級位)

白雪の降りてつむれる山里は
ほくそくせおとく消ゆるん

白雪の降りてつむれる山里は住む人さへやおもひ消ゆるん(壬生忠岑)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

初	日
か	が
や	く
海	に
新	

し	い
ち	か
い	を
た	て
る	

小学四年

は	つ
空	に
上	が
る	

き	れ
い	な
絵	だ
こ	

小学三年

本	年
も	よ
ろ	し
く	

お	ね
が	い
し	ま
す	

小学二年

し	ん
年	
お	め
で	

と	う
ご	ざ
い	ま
す	

小学一年

あ	
け	め
し	て
と	う

幼年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。